

## (7) 金属製造業

平成 24 年経済センサス活動調査における産業中分類の鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業を合わせて金属製造業とする。

### ① 概要

金属製造業は、製鉄を中心とする鉄鋼業、鉄以外の金属の精錬・精製や電線・ケーブル製造業などを含む非鉄金属製造業、建設資材から家庭用金物まで幅広い金物を製造する金属製品製造業で構成される。平成 24 年経済センサス活動調査（製造業集計）によると、鉄鋼業の製造品出荷額は 18.7 兆円、金属製品製造業は 12.1 兆円、非鉄金属製造業は 9.0 兆円で、これらを合わせると 39.8 兆円と製造品出荷額全体の 14.0%を占める。

近年の推移を見ると、平成 20 年までは新興国向けの建設や自動車需要を中心に成長を続けてきたが、リーマンショックにより世界全体で需要が縮小し、平成 21 年は大きく落ち込んだ。その後は再び回復に向かっている。

### ② 市内の金属製造業の特色

平成 24 年経済センサス活動調査（製造業集計）によると、京都市の金属製造業の事業所数は 226 所（対前年増加率 5.6%）、従業者数は 4,790 人（同 24.4%）、製造品出荷額は 1,412 億 99 百万円（同 61.0%）、粗付加価値額は 445 億 11 百万円（同 44.2%）である。製造業全体に占める金属製造業の割合は、事業所数が 7.7%、従業者数は 7.4%、製造品出荷額は 5.9%である。

近年の推移を見ると、リーマンショック直後の平成 21 年は、事業所数、従業者数、製造品出荷額ともに大きく落ち込んだが、平成 23 年には急激に回復した。平成 23 年の製造品出荷額は、リーマンショック前の水準まで戻っている。また、それに伴い、粗付加価値額も増加した。

平成 23 年の付加価値率は 31.5%で全国平均の 28.8 よりも高いが、近年は低下している。〔表Ⅱ-3-7-1、図Ⅱ-3-7-1〕

製造品出荷額の構成を業種細分類別に見ると、金属製品製造業が 47.0%、非鉄金属製造業が 44.9%と多く、鉄鋼業は 8.1%にすぎない。これは、鉄鋼業の割合が高い全国平均とは大きく異なった構造となっている。金属製品製造業では、金属製スプリング製造業が 9.6%と最も多く、次いで電気めっき業が 6.6%、製缶板金業が 5.6%と続く。また、非鉄金属製造業では、他に分類されない非鉄金属製造業が 21.0%と最も多く、次いで伸銅品製造業が 20.4%と多い。〔表Ⅱ-3-7-2〕

内陸都市である京都市では、臨海型の大型製鉄所を中心とした産業構造ではなく、めっき業やねじ製造業、金属プレス業、金属箔粉製造業など、技術力を駆使して多品種少量型の生産を行う企業が集積している。これらの企業は幅広い分野に製品を提供することで、日本の工業技術の基礎を支えている。

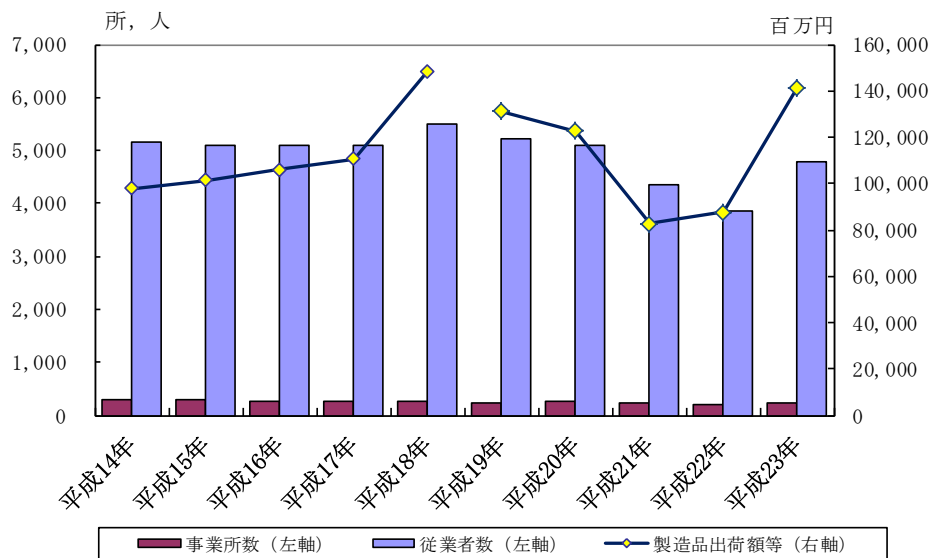
表Ⅱ-3-7-1 京都市の金属製造業の事業所数，従業者数，製造品出荷額等，粗付加価値額の推移

(単位：所，人，百万円，%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		粗付加価値額	
		対前年伸び率		対前年伸び率		対前年伸び率		対前年伸び率
平成14年	288	-12.7	5,168	-12.4	97,885	-24.4	43,308	-32.2
平成15年	279	-3.1	5,101	-1.3	101,475	3.7	43,375	0.2
平成16年	272	-2.5	5,108	0.1	106,163	4.6	47,115	8.6
平成17年	273	0.4	5,088	-0.4	110,445	4.0	47,413	0.6
平成18年	258	-5.5	5,486	7.8	148,588	34.5	61,911	30.6
平成19年	247	-4.3	5,210	-5.0	131,197	—	47,414	—
平成20年	267	8.1	5,097	-2.2	122,830	-6.4	44,771	-5.6
平成21年	236	-11.6	4,367	-14.3	82,705	-32.7	33,985	-24.1
平成22年	214	-9.3	3,850	-11.8	87,784	6.1	30,866	-9.2
平成23年	226	5.6	4,790	24.4	141,299	61.0	44,511	44.2

資料：経済産業省「工業統計調査」，総務省統計局「平成24年経済センサス活動調査（製造業集計，市区町村編）」  
 注：平成19年調査で調査項目を変更したため，製造品出荷額等，粗付加価値額は前回の数値とは接続しない。

図Ⅱ-3-7-1 京都市の金属製造業の事業所数，従業者数，製造品出荷額等の推移



資料：経済産業省「工業統計調査」，総務省統計局「平成24年経済センサス活動調査（製造業集計，市区町村編）」  
 注：平成19年調査で調査項目を変更したため，製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

表Ⅱ-3-7-2 京都市の金属製造業の主な産業（細分類）別事業所数，  
従業者数，製造品出荷額等 (単位：所，人，百万円，%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
		構成比		構成比		構成比
<b>金属製造業</b>	<b>226</b>	<b>100.0</b>	<b>4,790</b>	<b>100.0</b>	<b>141,299</b>	<b>100.0</b>
<b>鉄鋼業</b>	<b>14</b>	<b>6.2</b>	<b>209</b>	<b>4.4</b>	<b>11,463</b>	<b>8.1</b>
銑鉄铸件製造業（铸铁管，可鍛铸铁を除く）	4	1.8	56	1.2	821	0.6
鉄鋼シャースリット業	3	1.3	21	0.4	488	0.3
<b>非鉄金属</b>	<b>22</b>	<b>9.7</b>	<b>966</b>	<b>20.2</b>	<b>63,396</b>	<b>44.9</b>
他に分類されない非鉄金属製造業	4	1.8	569	11.9	29,733	21.0
伸銅品製造業	4	1.8	186	3.9	28,781	20.4
<b>金属製品</b>	<b>190</b>	<b>84.1</b>	<b>3,615</b>	<b>75.5</b>	<b>66,441</b>	<b>47.0</b>
金属製スプリング製造業	6	2.7	475	9.9	13,565	9.6
電気めっき業（表面処理鋼材製造業を除く）	19	8.4	566	11.8	9,348	6.6
製缶板金業	51	22.6	650	13.6	7,922	5.6
ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業	9	4.0	410	8.6	7,695	5.4
金属プレス製品製造業（アルミニウム・同合金を除く）	11	4.9	274	5.7	6,558	4.6
他に分類されない金属製品製造業	13	5.8	131	2.7	2,766	2.0

資料：京都市総合企画局「平成23年工業統計調査」  
細分類については主なものを掲載